

第50回群馬学連続シンポジウム

「地域で本を編む」という文化

—「みやま文庫」と会員制地域出版の未来—

2026 12月12日 土 13:00～16:00

会場 群馬県立女子大学 講堂

参加費 500円（大学生以下無料）

定員 300名 *事前申し込みが必要です。
(裏面参照)

参加特典

本シンポジウムの記録集となる『地域学ブックレット 群馬の歴史と文化遺産 Vol.20』(2027年度刊行予定)を、送料主催者負担のうえ贈呈します。 *配布方法は別途ご案内します。

プログラム

第1部

講演・報告
13:10～15:00

- 基調講演** 地域の文化を掘り起こす ―地方出版の可能性―
ライター・編集者 南陀楼 綾繁
- 報告1** 今、みやま文庫がなぜ必要なのか ―本で残す地域記録の価値―
みやま文庫 事務局長・編集長 藤井 浩
- 報告2** のじぎく文庫 69年目の挑戦 ―地域に根ざした出版の継続―
(株)神戸新聞総合印刷[神戸新聞総合出版センター]
出版部長 合田 正典
- 報告3** みやま文庫と群馬学
群馬県立女子大学 群馬学センター 教授 築瀬 大輔

第2部

パネルディスカッション
15:10～16:00

「会員制地域出版の未来を占う」

- パネリスト** 南陀楼 綾繁
藤井 浩
合田 正典
- コーディネーター** 築瀬 大輔

お申し込み
お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係
〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話：0270-65-8511（大学代表）
E-mail：gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00

申し込み
フォーム



《主催》群馬県立女子大学

《後援》玉村町 上毛新聞社 群馬テレビ FM GUNMA 群馬県地域文化研究協議会 群馬歴史民俗研究会 群馬歴史資料継承ネットワーク〈ぐんま史料ネット〉

開催趣旨

群馬県には全国に誇るべき顕著な文化的活動が三つあるという。「群馬交響楽団」、「上毛かるた」、そして「みやま文庫」である。みやま文庫は1961(昭和36)年、地域文化の推進と県民文化の向上を目的に、当時の群馬県議会図書室(前橋市)の運営委員らが中心となって発足した出版団体で、会員の会費と県の補助金で運営している点に特徴がある。発足以来66年間で、250巻あまりの単行本を双書形式で刊行してきた。テーマは、歴史と文化を中心に自然、産業、スポーツなど、いわば群馬の森羅万象である。それはまさに、県民の英知の結集であり、群馬の知の宝庫そのものであると言って過言ではない。

みやま文庫の構想から運営までを中心となって担ったのは、当時群馬県議会図書室長の職にあった、郷土史研究家の萩原進(1913-1997)である。現在、萩原進の蔵書や収集資料は、遺族によって群馬県立女子大学群馬学センターに寄贈され、「萩原文庫」として活用されている。結果的に、みやま文庫と群馬学センターは萩原を介して結ばれたことになるのだが、そもそも互いの理念には相通じるものがあつた。みやま文庫のバックナンバーを俯瞰してみれば、それが群馬学そのものであることに誰しも容易に気付くことができるだろう。

かつてはこうした郷土文化をテーマにした、シリーズものの地域出版が全国各地に展開していたのであるが、メディアの多様化、若者の活字離れ、会員の減少などを背景に減少の一途を辿っており、存続の危機に直面している。それでも、神戸市に本拠を置く「のじぎく文庫」(1958年創刊)や、岡山市の「岡山文庫」(1964年創刊)が、みやま文庫と並んで、数少ない会員制地域出版として活動を続けている。心強いばかりであるが課題は多く、いずれの団体も未来を展望したときの持続性ある運営のあり方が問われている。地域の住人が、地域の視点で文化を炙り出し、住人の手で言葉を紡ぎ、双書を編み、後世の住人に伝えるという文化、すなわち、「地域で本を編む」という営みの文化的意味をどう解き明かし、住人たちが当事者としてどう巻き込んでいけばよいのかという問いである。

本シンポジウムでは、この問いへのアプローチとして、会員制地域出版がそれぞれの地域で果たしてきた役割を明らかにするとともに、ややもすれば「絶滅危惧文化」と揶揄されかねない紙と活字メディアの普遍的な価値を再認識する。その上で、新たに創造すべき地域出版の「方法とかたち」を展望しようとするものである。

講師プロフィール

南陀楼 綾繁 / Nandaro Ayashige

ライター・編集者

1967年 島根県出雲市生まれ

明治大学大学院修士課程修了

著書に『本のある場所を訪ねて』(教育評論社、2026年)、『書庫をあるく アーカイブの隠れた魅力』(皓星社、2024年)、『「本」とともに地域で生きる』(大正大学出版会、2024年)、『古本マニア採集帖』(皓星社、2021年)、編著に『中央線小説傑作選』(中公文庫、2022年)など。

「不忍ブックスストリート」前代表

藤井 浩 / Hiroshi Fujii

みやま文庫 事務局長・編集長

1955年 群馬県前橋市生まれ

慶應義塾大学文学部国文学専攻卒業

専門は近世から近現代にいたる日本文学

上毛新聞社編集局記者、文化生活部長、取締役論説委員長、上武大学特任教授などを経て2024年から現職。記者・論説委員時代は主に歴史・文化を担当した。

著書に『誇りについて 上野村長黒澤丈夫の遺訓』(上毛新聞社、2013年)、上毛新聞社編『「眠る男」の記録』(上毛新聞社、1997年)、編著に『群馬文学全集第20巻・思想家、評論家ほか』(群馬県立土屋文明記念文学館、2003年)など。

萩原朔太郎研究会幹事長・朔太郎忌実行委員長

合田 正典 / Masanori Goda

(株)神戸新聞総合印刷「神戸新聞総合出版センター」出版部長

1966年 兵庫県たつの市生まれ

甲南大学法学部卒業

専門は独占禁止法

(株)神戸新聞総合出版センター編集課長、企画部長を経て、合併により2013年より現職。「のじぎく文庫」の運営を所管する。

神戸学検定公式テキスト編集委員会編『神戸学検定公式テキスト 神戸学』(神戸新聞総合出版センター、2007年)、『ゆかりの50人』シリーズ(同前、2002~06年)、和田克巳編『むかしの神戸:絵はがきに見る 明治・大正・昭和初期』(同前、1997年)、デイリースポーツ社編『95バ・リーグ優勝!オリックス・ブルーウェーブ』(同前、1995年)などの企画、編集を担当。

神戸市図書館協議会委員

築瀬 大輔 / Daisuke Yanase

群馬県立女子大学 教授

1965年 群馬県伊勢崎市生まれ

國學院大学大学院文学研究科博士課程後期修了

専門は日本中世史 博士(歴史学)

群馬県立板倉高等学校教諭、県教育委員会文化財保護課、県立歴史博物館学芸員を経て、2018年より現職。

著書に『小田原北条氏と越後上杉氏』(吉川弘文館、2022年)、『関東平野の中世』(高志書院、2015年)、『上野の戦国地侍』(みやま文庫、2012年)など。

群馬県文化財保護審議会専門委員、伊勢崎市史編さん専門委員、群馬歴史資料継承ネットワーク(ぐんま史料ネット)代表

参加申し込み方法 (事前予約が必要です)

書籍展示販売

会場にて、出演者著書、関連書籍の展示販売を行います。

協力: 戸田書店様名店



定員**300名**

次のいずれかの方法で、
2026(令和8)年12月10日(木)までにお申し込みください。

① インターネット【推奨】

大学ウェブサイトまたは右の二次元コードから参加申し込みフォームにアクセスし、氏名・住所・メールアドレス等を入力して参加者登録を行ってください。



お申し込みはこちら

② メール

「第50回群馬学連続シンポジウムに参加希望」、「氏名」、「住所」、「電話番号」を明記して以下のアドレスまで送信してください。

E-mail

gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp
(群馬県立女子大学事務局連携推進係あて)

イベントメールリストに登録を!

インターネット、またはメールでお申し込みをされると、群馬学センターイベントメールリストに登録され、群馬県立女子大学や群馬学センター、または後援・協賛団体等が主催する講演会・シンポジウムなどの情報をいち早く受け取ることができます。この機会にぜひ、群馬学センターイベントメールリストにご登録ください。

お問い合わせ

群馬県立女子大学事務局 連携推進係

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

◆ TEL / 0270-65-8511

◆ E-mail / gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp

◆ 受付時間 / 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

◆ ウェブサイト▶

